

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 3 部門第 3 区分
 【発行日】平成 24 年 5 月 17 日 (2012.5.17)

【公表番号】特表 2011-522901 (P2011-522901A)
 【公表日】平成 23 年 8 月 4 日 (2011.8.4)
 【年通号数】公開・登録公報 2011-031
 【出願番号】特願 2011-503052 (P2011-503052)
 【国際特許分類】

C 0 9 J 5/00 (2006.01)
 G 0 2 B 5/30 (2006.01)
 B 3 2 B 27/30 (2006.01)
 B 3 2 B 27/38 (2006.01)
 C 0 9 J 4/02 (2006.01)
 C 0 9 J 163/02 (2006.01)

【 F I 】

C 0 9 J 5/00
 G 0 2 B 5/30
 B 3 2 B 27/30 A
 B 3 2 B 27/38
 C 0 9 J 4/02
 C 0 9 J 163/02

【手続補正書】
 【提出日】平成 24 年 3 月 23 日 (2012.3.23)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】特許請求の範囲
 【補正対象項目名】全文
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】
 【請求項 1】

交互に積層された第 1 及び第 2 の光学層を含む多層光学フィルムであって、前記第 1 及び第 2 の光学層は、第 1 及び第 2 のポリマーをそれぞれ含み、前記第 1 及び第 2 のポリマーが、ポリエチレンテレフタレート、ポリエチレンナフタレート、三酢酸セルロース、ポリプロピレン、ポリエステル、ポリカーボネート、ポリメチルメタクリレート、ポリイミド、ポリアミド、及びこれらの配合物からなる群から選択される、多層光学フィルムと、光透過性支持層と、

前記多層光学フィルムと前記光透過性支持層との間に配置され、芳香族ポリエステル（メタ）アクリレートオリゴマー及び芳香族エチレン性不飽和モノマーを含む接着層と、を有する光学物品であって、

前記芳香族ポリエステル（メタ）アクリレートオリゴマーが、ナフタレンジカルボン酸、テレフタレートジカルボン酸、フタレートジカルボン酸、イソフタレートジカルボン酸、t - ブチルイソフタル酸、トリ - メリト酸、4 , 4 ' - ビフェニルジカルボン酸、及びこれらの組み合わせからなる群から選択される 1 以上のジカルボン酸を含み、

前記芳香族ポリエステル（メタ）アクリレートオリゴマーと前記芳香族エチレン性不飽和モノマーとの合計量が、前記接着層の少なくとも約 90 重量%であり、前記芳香族エチレン性不飽和モノマーに対する前記芳香族ポリエステル（メタ）アクリレートオリゴマーの重量比が、約 30 : 70 ~ 約 50 : 50 である、光学物品。

【請求項 2】

前記芳香族ポリエステル(メタ)アクリレートオリゴマーがペンダント水酸基を含む、請求項 1 に記載の光学物品。

【請求項 3】

前記芳香族ポリエステル(メタ)アクリレートオリゴマーが開環ビスフェノール A ジグリシダルエーテルを含む、請求項 1 に記載の光学物品。

【請求項 4】

前記芳香族エチレン性不飽和モノマーがフェノキシエチルアクリレートを含む、請求項 1 に記載の光学物品。

【請求項 5】

前記接着層が約 20 ppm 以下の量のスズを含む、請求項 1 に記載の光学物品。

【請求項 6】

前記接着層が約 300 ppm 以下の量のハロゲン化物を含む、請求項 1 に記載の光学物品。

【請求項 7】

前記接着層が 8.75 重量%未満のエポキシジアクリレートを含む、請求項 1 に記載の光学物品。

【請求項 8】

多層光学フィルムと、

前記多層光学フィルムの反対側に配置され、それぞれ第 1 及び第 2 の接着層によって多層光学フィルムに接着される第 1 及び第 2 の支持層と、を備えた光学物品であって、前記第 1 及び第 2 の支持層は光透過性であり、芳香族ポリエステル(メタ)アクリレートオリゴマー及び芳香族エチレン性不飽和モノマーから基本的になる、光学物品。